

浜松JC

[静岡]

2008年全国会員大会に向け 現役とともに着々と準備中

ベルリンで世界平和評議会の第一回総会が開かれた1951年2月21日の同日、戦後復興さなかの静岡県は浜松市の地にて浜松JCは創立総会を行い、全国で10番目のLOMとして、ここに産声を上げたのです。それから55年という歴史を積み重ね、本年1000人目の入会者を数えるまでになりました。

元亀元年(1570年)、徳川家康はこの浜松の地に居城を構え、その後は徳川譜代の大名が城主となり、幕府老中6人を輩出したことにより浜松城は「出世城」と呼ばれるようになりました。そして、明治以降には、ヤマハの山葉寅楠、トヨタの豊田佐吉、河合楽器の河合小市、本田技研工業の本田宗一郎、スズキ自動車の鈴木道雄など世界的企業家を育んできたのです。彼らは、技術ももちろんのこと、戦国・江戸期の浜松人から引き継いだ精神を受け継いで、世界的企業を興すことに成功したのです。

そして、その精神は、今もなお浜松に住む人たちに、脈々と流れているのです。そして先の大戦後、その精神を受け継ぐ者たちの手により浜松JCは創設され、多くの経済人を輩出してきました。

現在の浜松JCは、202名の会員数を有し、長期的事業として「はまつ少年の船」、浜松交響楽団の支援及び「移動オーケストラ教室」、UCC(United Children)の支援等を行っています。また、拡大にも力を入れ、会員減少に苦しむ

LOMが多い中、1981年以降常に200名超の会員数を維持しております。われわれ浜松JCシニアクラブは、「会員相互の懇親を深めるとともに(社)浜松青年会議所の活動を支援すること」を目的とし、さまざまな運動を展開しております。

まず年度の始まりに、1月の浜松青年会議所賀詞交歓会と同日に総会を開催し、年3〜4回の懇親会及び勉強会を開催しています。昨年は、猪瀬直樹氏をお招きし、ご講演をいただきました。

浜松

JCの支援としましては、3月に行われる「は

まつ少年の船」にチームリーダーとして乗船しております。この事業は、「ふじ丸」等の大型客船を貸し切り、小学校3〜6年生約500名を乗せ、2泊3日の洋上研修をするものです。小学生10人を1チームとし、その指導に当たるのがチームリーダーです。

また1976年、全国会員大会を開催した折、記念事業として「財」浜松交響楽団」を設立しました。そして現在で



シニアクラブ例会

も、現役メンバーと共にその支援に尽力しております。

現役メンバーとは、じゃがいもクラブ、やきとり会、ラ

イダーズクラブ、フィッシャーマンズクラブ、ダーツクラブ等、さまざまな分科会にて交流をしています。

そして浜松JCは、昨年2008年全国会員大会を招致いたしました。それに伴いシニアクラブでも準備委員会を立ち上げ、着々とその日のために準備を進めている最中です。

経済的、そして観光資源にも恵まれた浜松は、必ずや訪れた方々に笑顔と満足を与えることでしょう。

2008年、現役メンバー共々、万全の体制にて皆様のお越しをお待ちしております。

日本JCシニア・クラブ

静岡ブロック担当幹事 塩谷泉

移動オーケストラ



少年の船



浜松交響楽団